

平成22年度いわて子ども希望基金助成事業

i・出会い応援事業 参加者アンケート 集計結果

財団法人 岩手県長寿社会振興財団

【概要】

平成21年度より開始した「i・出会い応援事業」をより効果的に推進するため、参加者の現状の把握及び出会いや結婚に対する意識について調査することを目的に、「i・出会い応援事業参加者アンケート」を実施した。

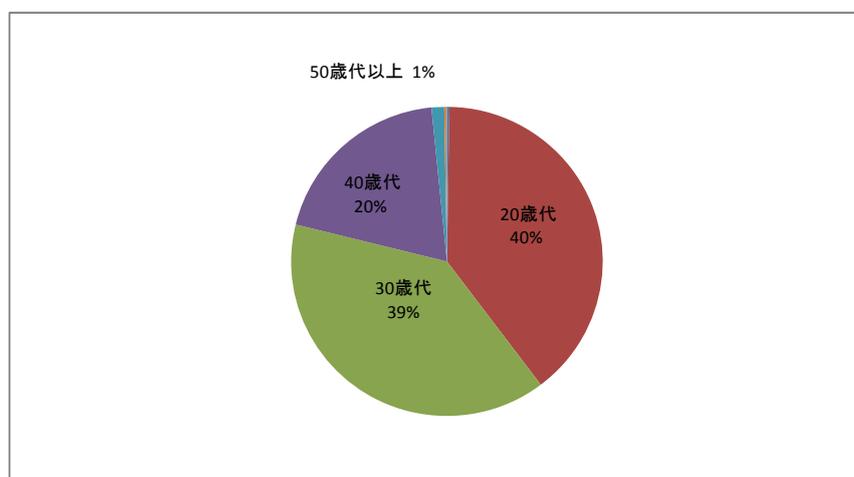
対象は、平成22年度の「i・出会い応援事業」助成団体が実施する『未婚男女の出会いの場創出』に係る事業へ参加した未婚男女で、助成団体(事業実施団体)14団体に対し配布及び回収を依頼したものである。

【アンケートの実施状況】

全32イベント中17イベント、参加人数610人、アンケート回収数478人、アンケート回収率78%

Q1 あなたの年齢を教えてください。

- ①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代以上



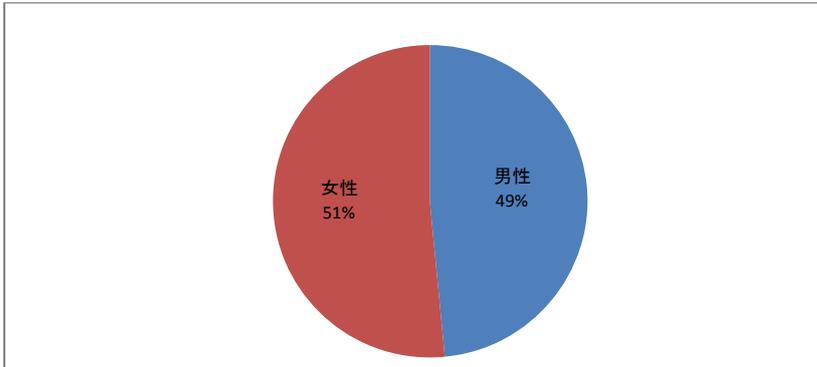
【分析】

参加者は20歳代が40%と一番多く、30歳代の39%と合わせると全体の約8割を占めている。

Q2 あなたの性別を教えてください。

①男性

②女性



【分析】

男性が49%、女性が51%とほぼ同数となっている。

Q3 あなたの職業を教えてください。

①自営業

②会社員

③農林水産業

④公務員

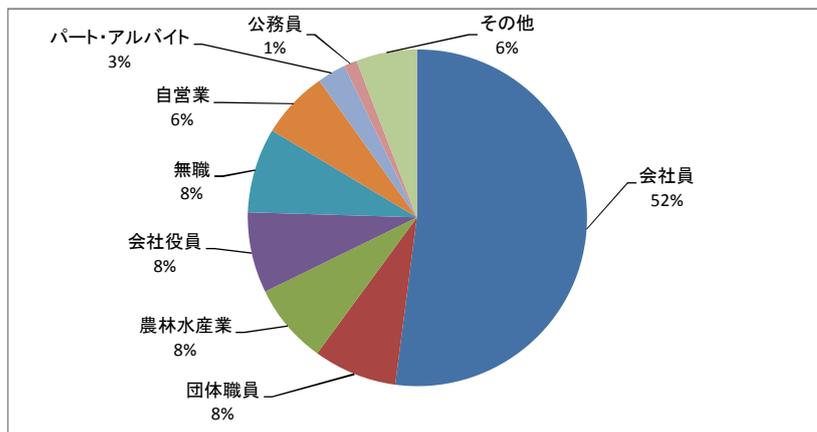
⑤会社役員

⑥団体職員

⑦パート・アルバイト

⑧無職

⑨その他



【分析】

会社員が52%と約半数を占め占めている。

Q4 あなたのお住まいの市町村を教えてください。

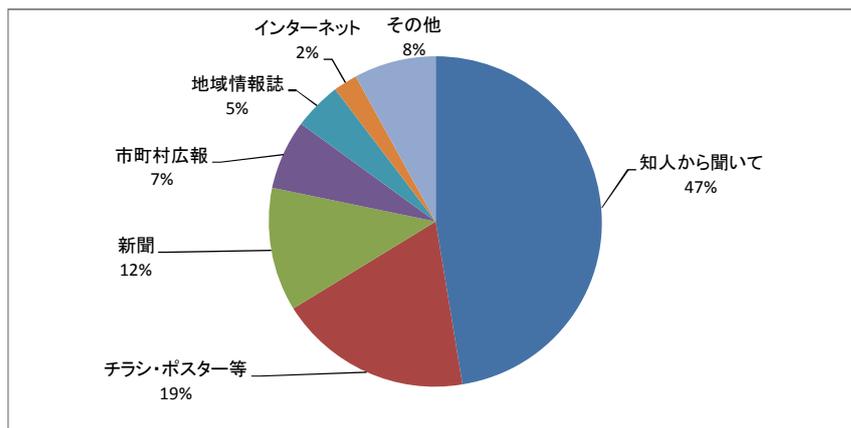
岩手県市町村	盛岡市	一関市	紫波町	奥州市	北上市	
人数	142	74	36	32	29	
岩手県市町村	九戸村	葛巻町	滝沢村	二戸市	花巻市	
人数	17	16	15	15	12	
岩手県市町村	藤沢町	平泉町	矢巾町	八幡平市	雫石町	
人数	12	11	10	9	7	
岩手県市町村	金ヶ崎町	軽米町	一戸町	山田町	宮古市	
人数	5	5	4	4	2	
岩手県市町村	岩手町	久慈市	石鳥谷町	大槌町	大船渡市	
人数	2	1	1	1	1	
岩手県市町村	釜石市	遠野市	浄法寺町	住田町	若柳町	
人数	1	1	1	1	1	
岩手県市町村	和賀町	未記入	県内合計	(32市町村)		
人数	1	2	471			
県外	宮城県	青森県	千葉県	東京都	県外合計	(4都県)
人数	4	1	1	1	7	
					全体合計	
					478	

【分析】

県内の32市町村からのべ471名、宮城県から4名、青森県、千葉県、東京都からそれぞれ1名ずつの参加があった。

Q5 今回参加した事業を何で知りましたか？（複数回答可）

- ①チラシ・ポスター等 ②市町村広報 ③新聞
- ④地域情報誌 ⑤インターネット ⑥知人から聞いて
- ⑦その他

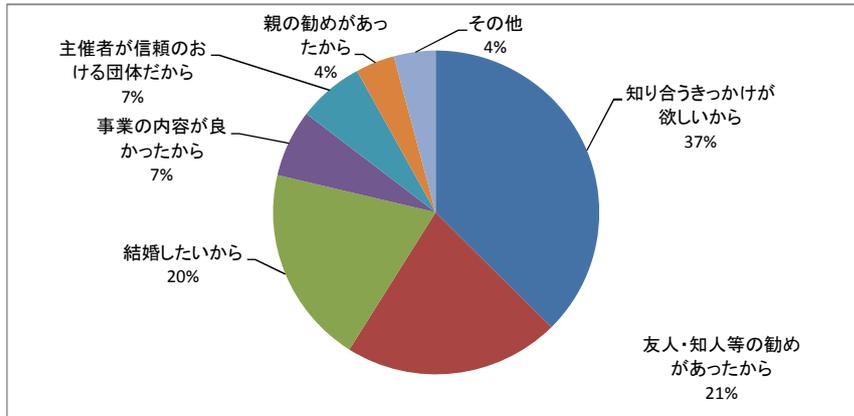


【分析】

「知人から聞いて」事業を知った人が47%と約半数を占めている。次いでチラシやポスター、新聞の順となっている。

Q6 今回の事業に参加した理由を教えてください。（複数回答可）

- ① 知り合うきっかけが欲しいから
- ② 結婚したいから
- ③ 親の勧めがあったから
- ④ 事業の内容が良かったから
- ⑤ 友人・知人等の勧めがあったから
- ⑥ 主催者が信頼のおける団体だから
- ⑦ その他

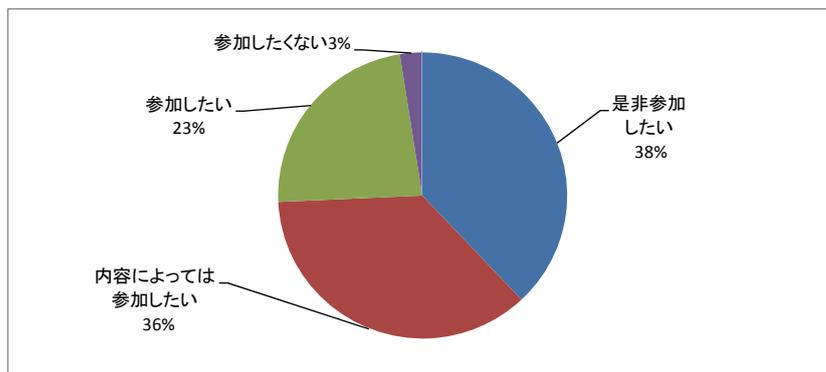


【分析】

「知り合うきっかけが欲しいから」の37%と「結婚したいから」の20%を合わせると57%と半数を超えている。また、「友人知人等の勧めがあったから」の21%と「親の勧めがあったから」の4%を合わせると全体の25%となり、4人に1人が誰かの勧めを受けて参加しているという結果であった。

Q7 今後も出会いを目的とした企画（交流イベント等）に参加したいと思いますか？

- ① 是非参加したい
- ② 参加したい
- ③ 内容によっては参加したい
- ④ 参加したくない



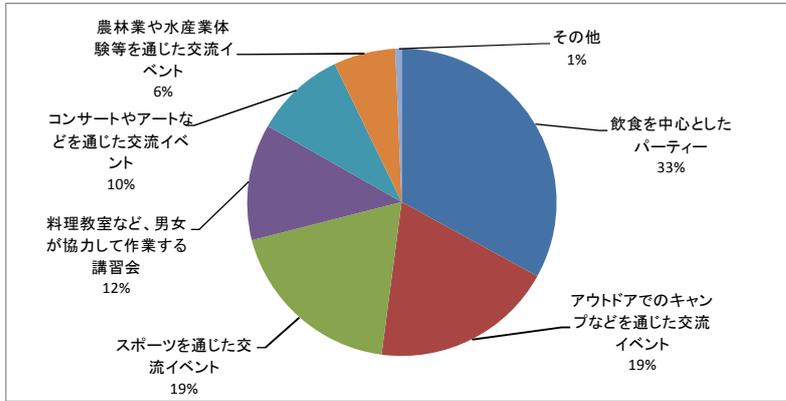
【分析】

「是非参加したい」と「参加したい」が合わせて60%と半数を超えており、次いで「内容によっては参加したい」が36%となっている。

※Q7で①～③と答えた方にお聞きします。

Q8 今後どのような企画があれば参加しますか？（複数回答可）

- ① 飲食を中心としたパーティー
- ② スポーツを通じた交流イベント
- ③ アウトドアでのキャンプなどを通じた交流イベント
- ④ コンサートやアートなどを通じた交流イベント
- ⑤ 料理教室など、男女が協力して作業する講習会
- ⑥ 農林業や水産業体験などを通じた交流イベント
- ⑦ その他

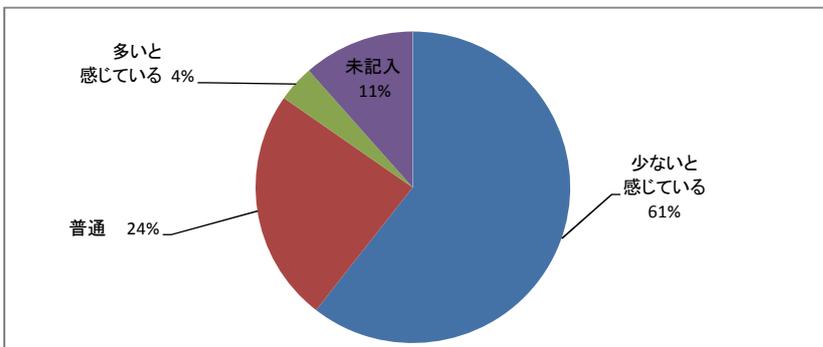


【分析】

「飲食を中心としたパーティー」に参加したいと答えた人が33%と1番多なっている。次いで「アウトドアでのキャンプなどを通じた交流イベント」と「スポーツを通じた交流イベント」がともに19%、「料理教室など男女が協力して作業する講習会」が12%、「コンサートやアートなどを通じた交流イベント」が10%、「農林水産業体験を通じた交流イベント」が5%と続いている。

Q9 出会うの機会は多いと思いますか？

- ① 多いと感じている
- ② 普通
- ③ 少ないと感じている



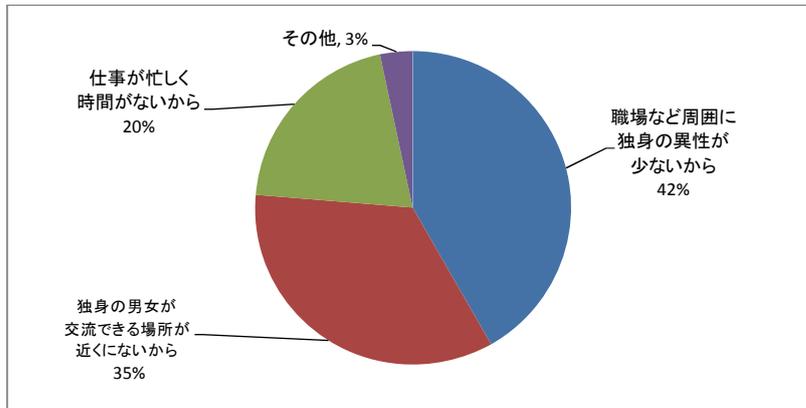
【分析】

「多い」と感じている人は僅か4%であり、「出会うの機会は少ない」と感じている人が61%と高い割合になっている。

※Q9で③と答えた方にお聞きします。

Q10 出会いの機会が少ないのは何故だと思いますか？（複数回答可）

- ①職場など、周囲に独身の異性が少ないから
- ②仕事が忙しく時間がないから
- ③独身の男女が交流できる場所が近くにないから
- ④その他

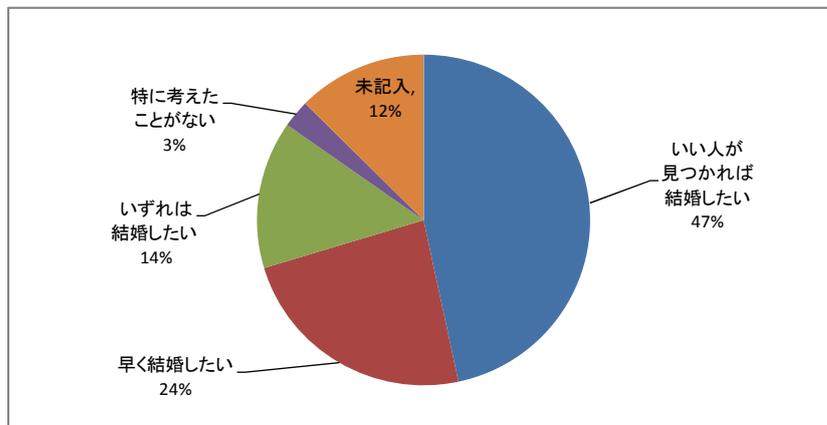


【分析】

「職場など周囲に独身の異性が少ないから」が42%と最も多く、次いで「独身男女が交流できる場所が近くにない」が35%となっており、両者を合わせると77%と非常に高い割合となっている。「仕事が忙しく時間がないから」と答えた人は20%であった。

Q11 あなたは結婚したいと考えていますか。

- ①早く結婚したい
- ②いい人が見つければ結婚したい
- ③いずれは結婚したい
- ④結婚したくない
- ⑤特に考えたことがない



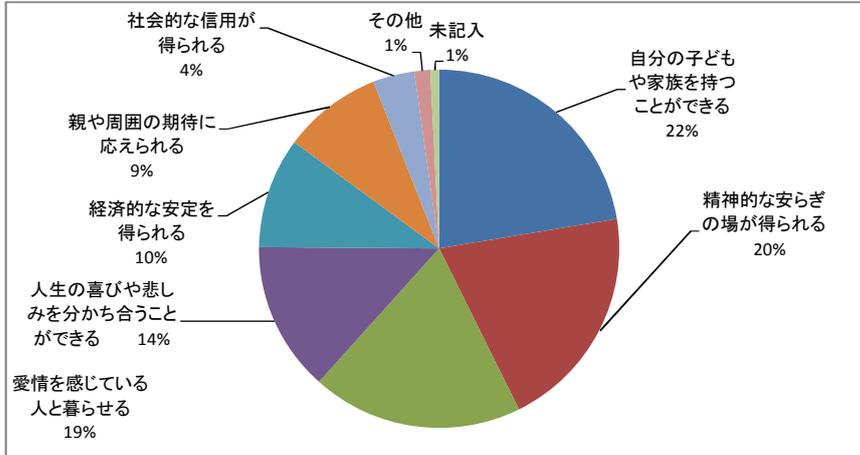
【分析】

「いい人が見つければ結婚したい」が47%と一番多く、次いで「早く結婚したい」が24%、「いずれは結婚したい」が14%と、結婚したい意識を持っている人が全体の85%と非常に高い割合になっている。

※Q11で①～③と答えた方にお聞きします。

Q12 結婚したい理由は何ですか？（複数回答可）

- ①精神的な安らぎの場が得られること
- ②愛情を感じている人と暮らせること
- ③経済的な安定を得られること
- ④親や周囲の期待に応えられること
- ⑤自分の子どもや家族を持つことができること
- ⑥社会的な信用が得られること
- ⑦人生の喜びや悲しみを分かち合うことができること
- ⑧その他

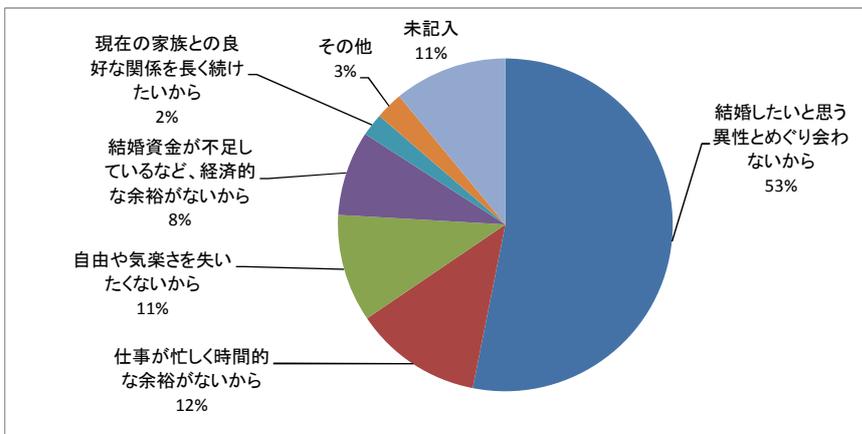


【分析】

「自分の子どもや家族を持つことができる」が22%、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が20%、「愛情を感じている人と暮らせる」が19%となっている。

Q13 独身でいる理由は何か教えてください。（複数回答可）

- ①結婚したいと思う異性とめぐり合わないから
- ②結婚資金が不足しているなど、経済的な余裕がないから
- ③仕事が忙しく時間的な余裕がないから
- ④自由や気楽さを失いたくないから
- ⑤現在の家族との良好な関係を長く続けたいから
- ⑥その他



【分析】

「結婚したいと思う異性とめぐり合わないから」が53%と半数以上を占めており、次いで「仕事が忙しく時間的な余裕がないから」が12%、「自由や気楽さを失いたくないから」が11%となっている。

【アンケート全体からの考察】

全体の集計結果から、平成22年度「i・出会い応援事業」に参加した未婚男女の多くは、「喜びや悲しみを分かち合える愛情ある家庭を築きたい」と考えており、結婚への意識は高いものの、「いい人が見つからない」「出会う機会が少ない」といった理由で結婚できずにいることが窺える。

一方、主催団体においては、参加者をどのように集めるかが重要であり、宣伝広告によるところも大きい。が、「事業内容が参加したいと思えるものかどうか」が鍵を握っていると思われ、企画の段階で独身男女に参加してもらうなど、参加者のニーズを捉えることが肝要と思われる。Q7で「内容によっては参加したい」と回答した人が36%となっていることから、この36%を取り込める魅力ある事業の企画立案に期待したい。

また、Q4で参加人数12位の平泉町までのうち、滝沢村と花巻市を除いた10市町村が助成団体の所在地であった。今後は、県内のより広い地域の様々な団体に未婚男女の出会いの場創出事業を実施して頂き、地域的な偏りをなくしていくことが必要であり、更に地域を挙げて独身男女の出会いを支援する気運の醸成や、団体や地域における参加者のフォローアップ体制の構築なども含め、一過性ではない継続的な取り組みに期待したい。